



秋、彼岸前の日曜日、阿部の公会堂前で春日神社の氏子が悪病退散と豊作祈願のため、新しいワラで武者姿の男女一対の人形を作り、春日神社に奉納します。

頭・手・足や刀等各部分をつくり、最後に組み立てて完成させます。男にはやり鎗を、女にはなぎなたを持たせています。人形の手足の指は4本ずつつくられるなどのルールが定められています。

かつては小櫃川流域で広く行われていたこの行事は、現在、君津市の一部と阿部地区でしか行われていません。



鎗となぎなたの1部



胴部をつくる